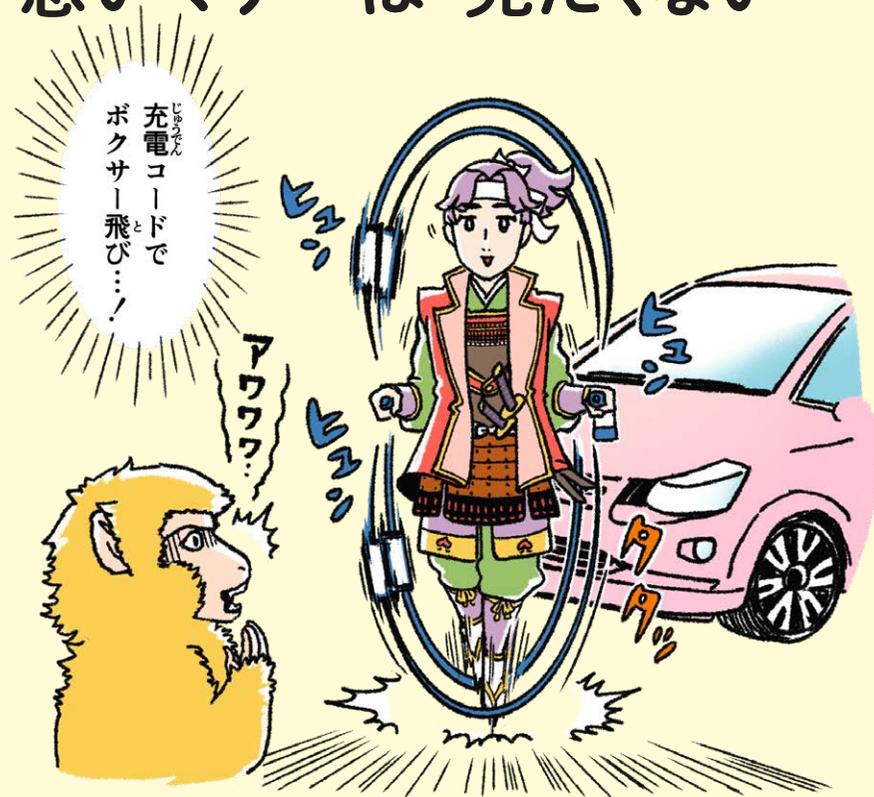




オーナーの 悪いマナーは 見たくない



急速充電にはさまざまなマナーがあります。たとえば、急速充電設備の規定の充電時間が終了した後、再度充電を行うことは俗に「おかわり充電」と呼ばれていますが、次の人が待っているのに「おかわり充電」を行うことは、マナーに反する行為とみなされます。また、充電完了後に車をすまやかに移動させないことも、マナーに反する行為といえます。まずはマナーを知ることから始めましょう。

忘れずに! 急速充電 30分



一般的な急速充電設備は、1回の上限時間が30分に設定されているため、お買い物などで長時間、車を離れる際は、充電完了前には一度車に戻って、完了後に移動させる必要があります。現在の充電設備は時間単位の課金制となっているので、料金もどんどんかかってしまいます。うっかり忘れてしまわないよう、スマートフォンのタイマーなどを活用しましょう。



ありがとう 譲ってもらって 晴れやかに



一般的な急速充電設備では、1回の上限時間は30分に設定されていますが、次に充電を待っている人がいるときは、上限まで充電するのではなく、必要な分だけ充電して、次の人に交代してあげることもマナーのひとつです。自分が充電を待つ側だったら、少しでも早く充電したいですね。状況によっては、譲り合って充電スタンドを使うことが大切です。

充電も 食事の量も 腹八分



一般的に電気自動車は充電量が上限に近づく、充電の速度が落ちて効率が悪くなります。現在、充電設備は時間単位の課金制となっているので、充電効率の悪いまま充電を続けるのはコストパフォーマンスも悪くなります。またフル充電すると、リチウムイオン電池の特性上、バッテリーの劣化を早めてしまいます。充電は電池残量80%を目安に終了するのがオススメです。

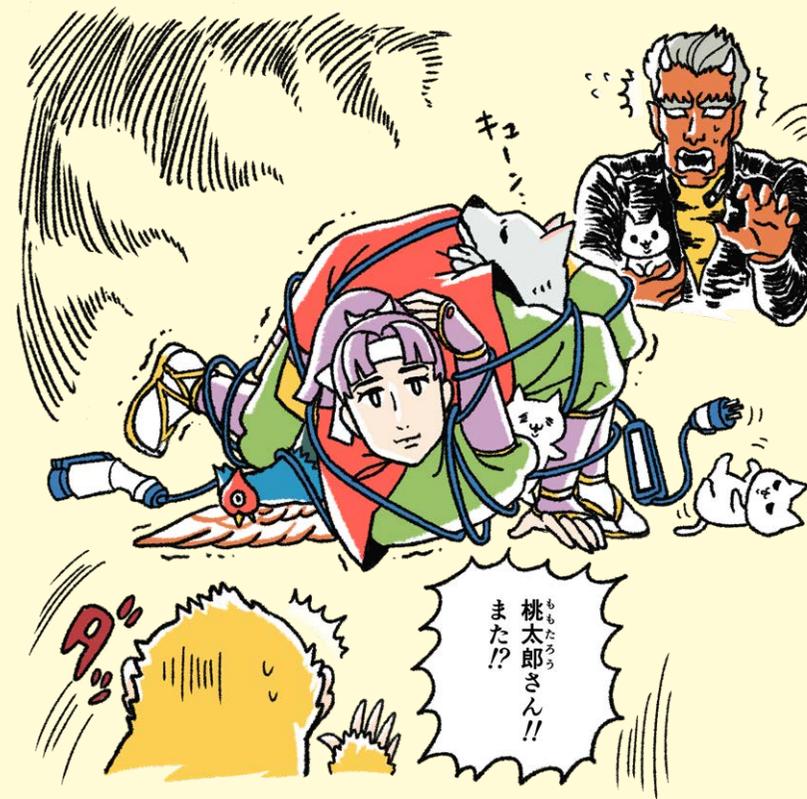


壊れたら 自分も困る やさしくね



急速充電設備が故障する原因のひとつが、ケーブルの先に付いているコネクタ（接続部）の破損です。コネクタは大きくて、ケーブルの荷重が加わって重くなっているため、注意して扱わないとうっかり落として割れてしまうことがあります。やっとなどり着いた充電設備が故障中だと、困ってしまいますよね。充電の際は、気を付けて丁寧に扱しましょう。

転んじゃう ケーブル放置は 危険だよ



急速充電設備にはどんな車種にも対応できるよう、長めの充電ケーブルが取り付けられています。充電後にケーブルを片付けずに放置しておくと、後から来た車がケーブルを踏んで断線したり、コネクタが破損したりすることもあります。みんなが気持ちよく利用できるよう、また、故障の原因とならないよう、使い終わったケーブルはきちんと片付けましょう。

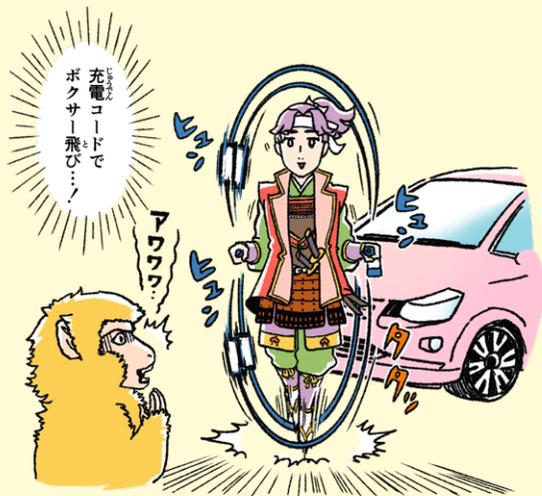
岡山県 知ってほしいEV充電マナー川柳

電気自動車が
暮らしをもっと、
ワクワクさせる!

OKAYAMA
EVs LIFE



オーナーの悪いマナーは見たくない



充電も 食事の量も 腹八分



忘れずに! 急速充電 30分



ありがとう譲ってもらって晴れやかに



壊れたら 自分も困る やさしくね



転んじゃう ケーブル放置は 危険だよ

